

～イオンシネマで展開できるデジタルサイネージ広告～

「シネマメディア」媒体資料 2023年4月



はじめに

リュミエール兄弟により発明され、20世紀のはじまりとともに誕生した映画は、100年以上が経過した今でもなお「娯楽の王様」として、世界中の老若男女を問わず人々に愛される動画エンターテインメントです。

昨今コロナ禍の中であっても、多くの人々が劇場に足を運び、映画作品を楽しんでいました。

イオンシネマは国内最大級のシネマコンプレックス(複合映画館) であり、2022年年間観客動員数が2,410万人に達しています。

今回はイオンシネマで展開できるデジタルサイネージ広告「シネマメディア」をご紹介します。

自分が、そして同伴者が、“楽しむ”事に積極的な人々が集まる映画館ならではの企画プロモーションが、**ビジネスの成功**につながると期待できます。

観客動員数

2,410万人/年

※2022年1月～12月



全国シェア
22.1%

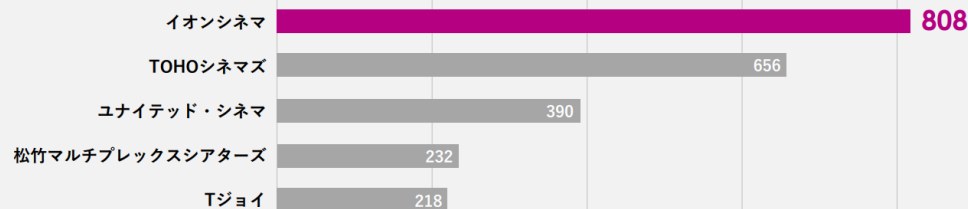
スクリーン数

808SC



全国シェア
22.2%

国内大手シネコンスクリーン数



2022年1月時点 イオンシネマ調べ

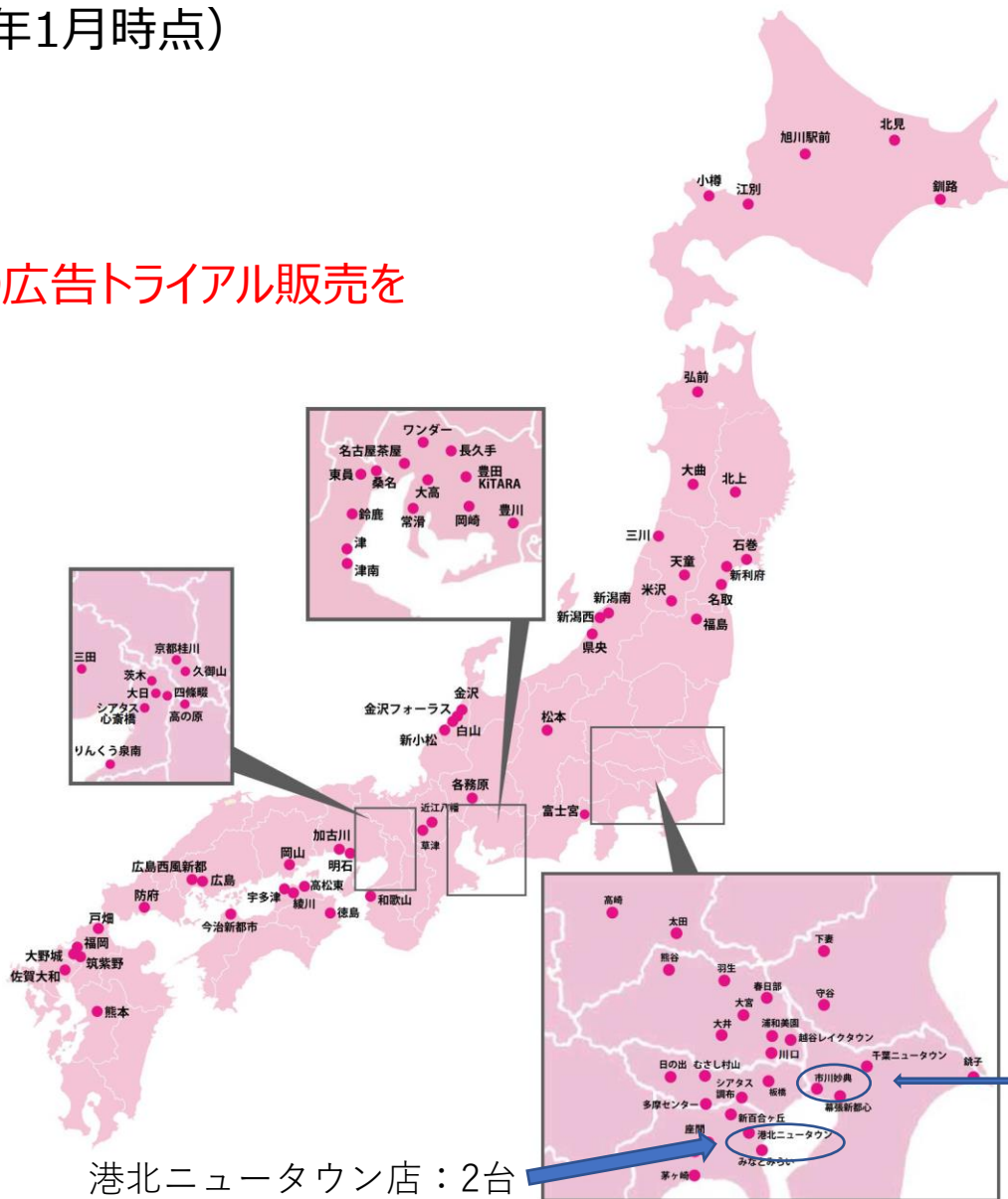
※「イオンシネマ メディアガイド」より

「シネマメディア」エリアマップ

「シネマメディア」は全国にあるイオンシネマの**94劇場**（2023年1月時点）に導入予定のデジタルサイネージメディアです。

* 全劇場の導入完了予定は2023年6月になります。

導入完了に先立ち、「市川妙典店」と「港北ニュータウン店」の広告トライアル販売を**2023年4月上旬**より開始致します。



「シネマメディア」の属性

イオンシネマの劇場には主に**18歳～54歳**の幅広い年齢層の方々が来場します。

また、来場者における**男女の比例はほぼ同じ**です。

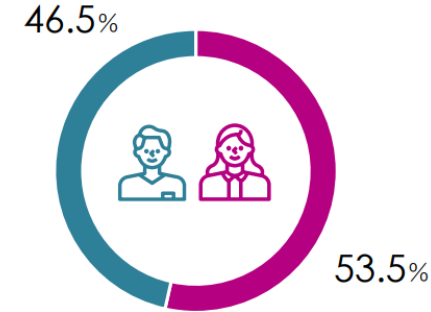
劇場はイオンモールにあるという利便性もあり、車での来場がダントツ多いです。

性別の制限なく、ある程度の経済力が持ち、エンタメを求めている来場者に対し、**エンタメコンテンツや大人向けの商品のアピール**ができます。

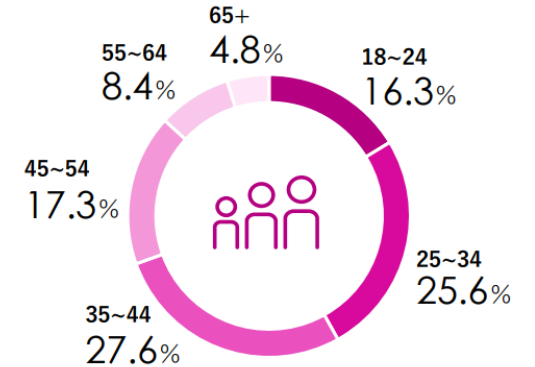
高額商品の広告も適応します。

広告の例：電子書籍、ゲームアプリ（エンタメ）
食品、酒類（大人向け商品）
住宅、自動車（高額商品）
etc…

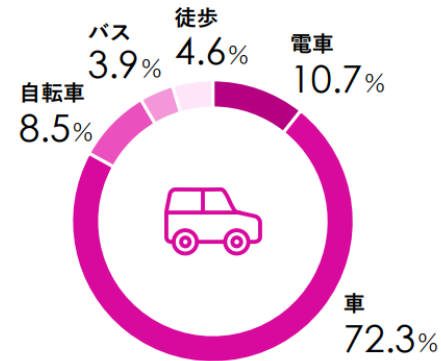
男女比



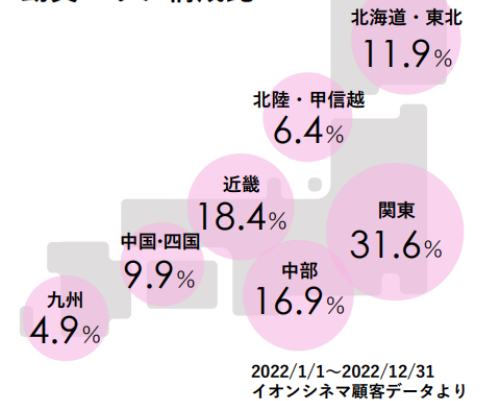
年齢層



交通手段



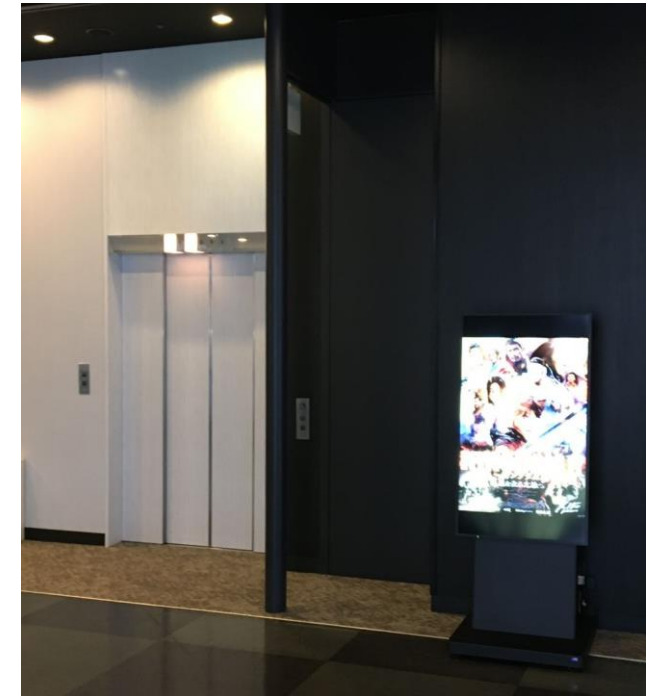
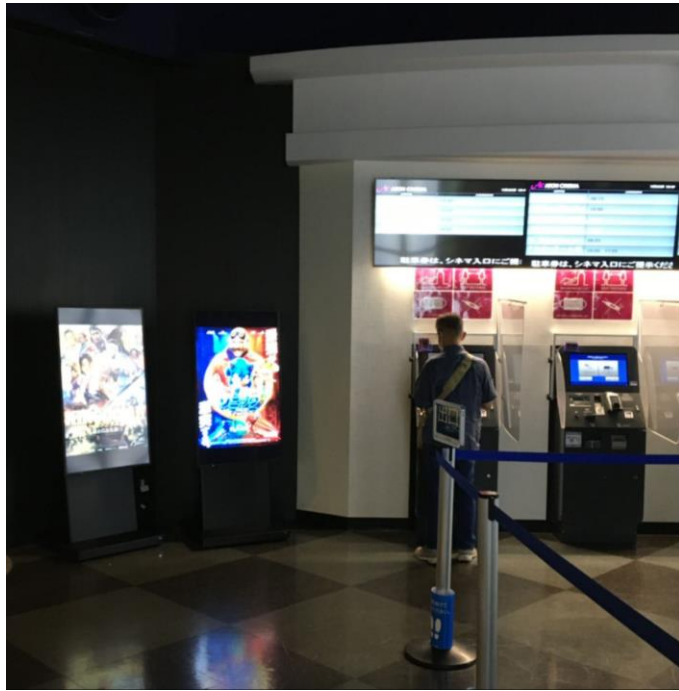
動員エリア構成比



劇場におけるデジタルサイネージ設置場所

来場者で賑わう劇場ロビーの様々なスポットにサイネージを設置。

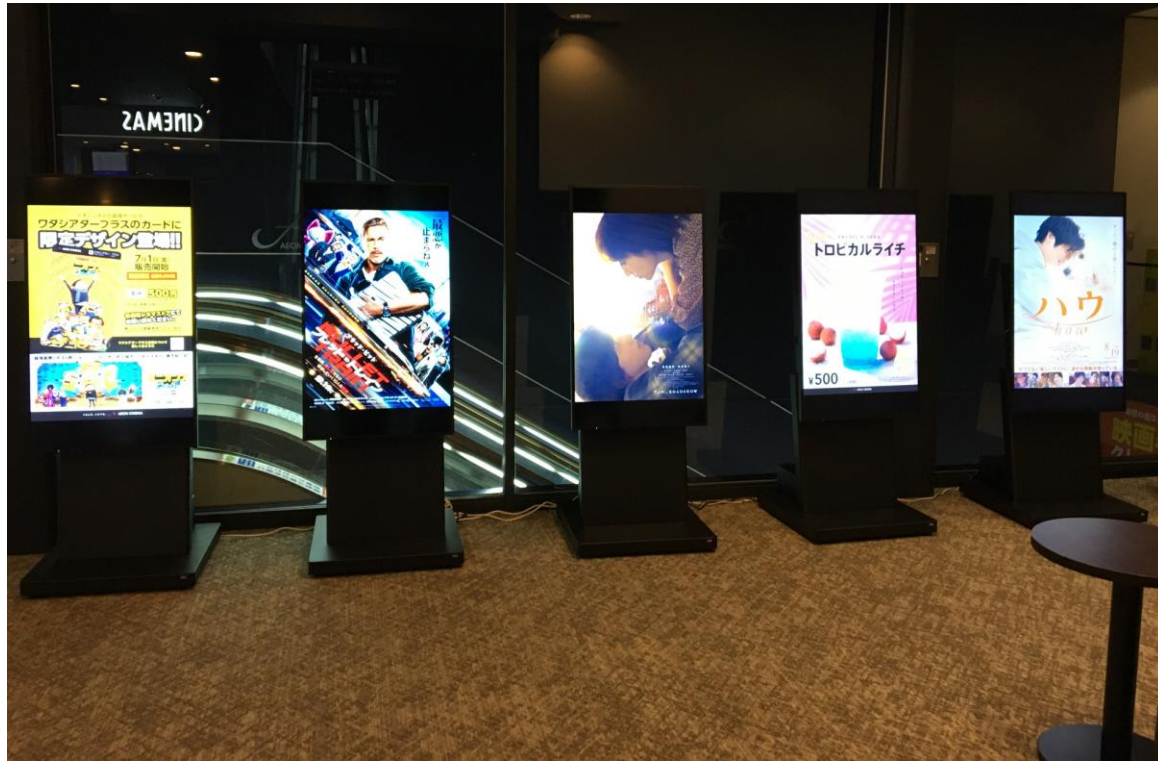
劇場ロビーでは、開場を待つ来場者が情報を求めて回遊します。目を引く広告は好意的に受け入れられ、より深い商品理解が得られます。



掲出イメージ

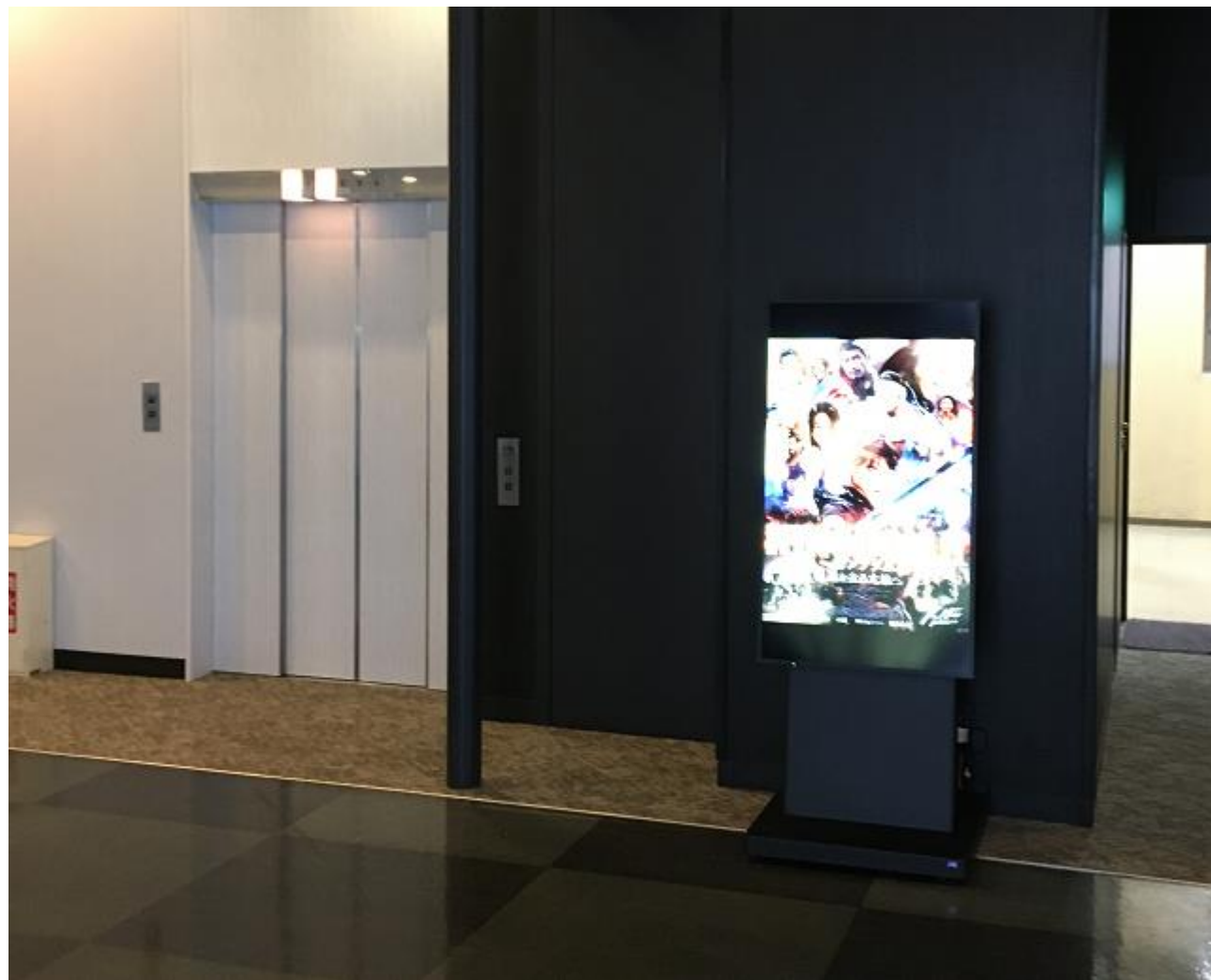
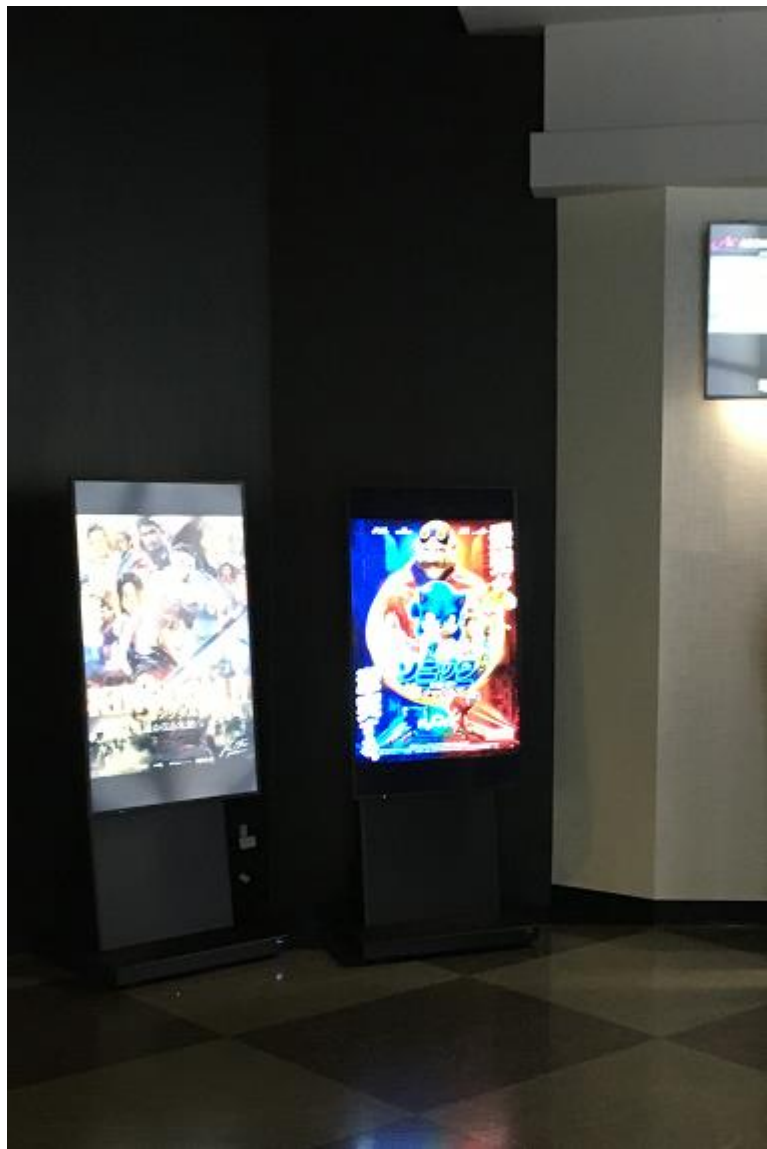
デジタルサイネージの設置場所 市川妙典店

① 3F エスカレータ横5台



②3F 発券売り場横2台

3F エレベータ横1台



③5F エスカレータ正面2台



デジタルサイネージの設置場所 港北ニュータウン店

縦型サイネージ2台



2店舗トライアル広告ご利用特別料金

店舗名	市川妙典	港北ニュータウン
対象台数	10台	2台
画面サイズ	43インチ	43インチ
放映回数	約56,000回／4週間	約11,200回／4週間
放映頻度	6分に2回放映／1日10時間以上	6分に2回放映／1日10時間以上
配信方法	両店舗全台同時配信	
接触人数	約3.5万人／月間	約6.3万人／月間
広告料金	15秒2枠 4週間 50,000円(税別)	

※2023年6月より全店（94店舗）広告販売開始の予定です。
SNS連動など広告企画も準備中です。